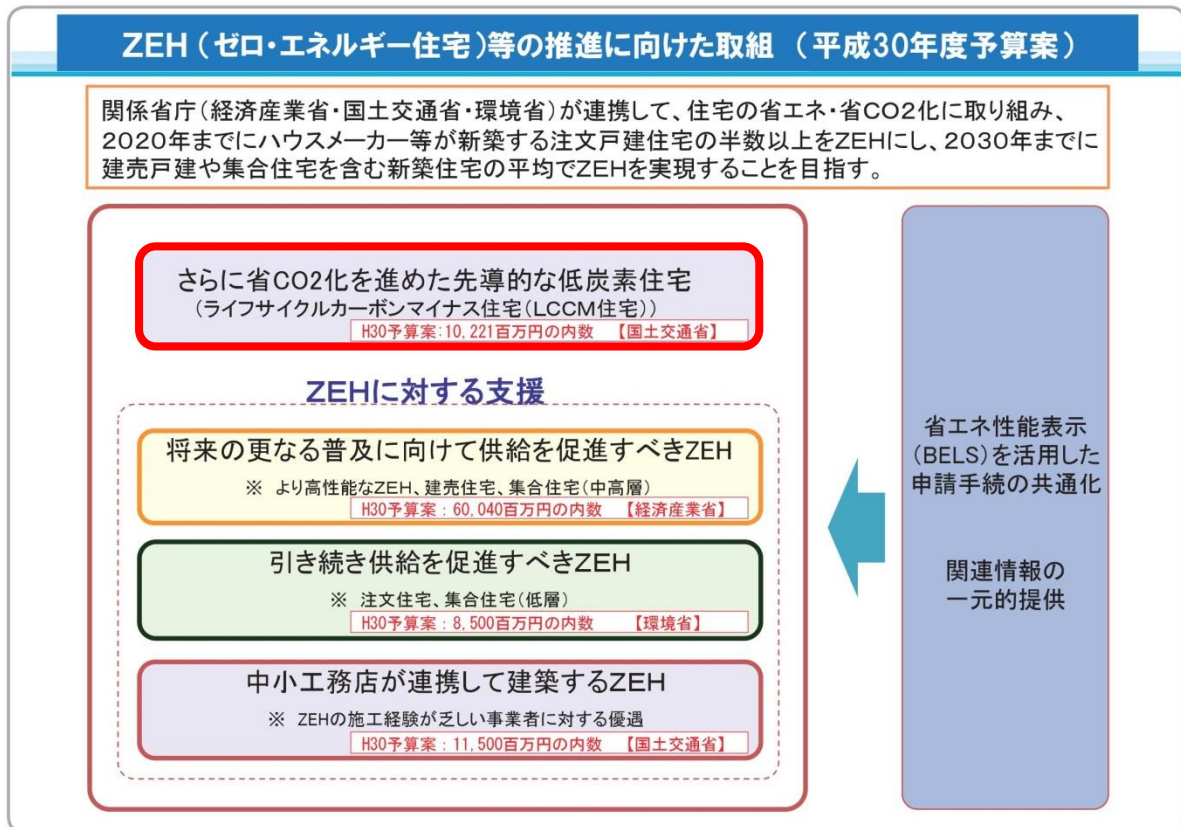


『ZEH 情報かわら版』

国交省「LCCM 住宅部門」の創設

かわら版 22・23 号で、3 省の ZEH 関連情報を配信しましたが、国土交通省では、ZEH より更に省 CO2 化を進めた先導的な低炭素住宅である、LCCM 住宅を新築する事業を支援する方針です。LCCM 住宅とは、住宅の建設時や改修も含めた、建築から解体・再利用までのライフサイクルを通じて、CO2 の収支をマイナスにする、ライフサイクルカーボンマイナス(Life Cycle Carbon Minus)住宅のことです。



(国土交通省 住宅・建築物の省エネ・省 CO2 施策と ZEH 等に関する支援事業 <http://www.mlit.go.jp/common/001224331.pdf> より抜粋)

■ 補助金に関して、H30 予算案は、10,221 百万円の内数

国土交通省では、平成 30 年度のサステナブル建築物等先導事業(省 CO2 先導型)より、LCCM 住宅部門を創設し、予算案を組んでいます。補助額の案として、LCCM 住宅建設に係る建材・設備等の掛かり増し費用の 1/2 以内、かつ限度額 125 万円/戸が検討されています。

■ 事前枠付与方式にて採択、基本要件は 3 項目(案)

有識者による評価委員会を経て、事前枠付与方式にて採択し、補助対象戸数の決定をする予定です。ただし、当該年度内に着手することが条件です。LCCM 住宅部門の基本要件は以下の 3 項目となる予定です。

- ① CASBEE 評価で LCCO2 の評価結果が 0 以下となるもの
- ② ZEH の要件を満たすもの(Nearly ZEH、ZEH Oriented は含まない)
- ③ 住宅としての品質が確保されたもの(長期優良住宅でも可)

基本要件を満たしているかの確認書類は、①・③は CASBEE、②は BELS 評価書となる予定です。